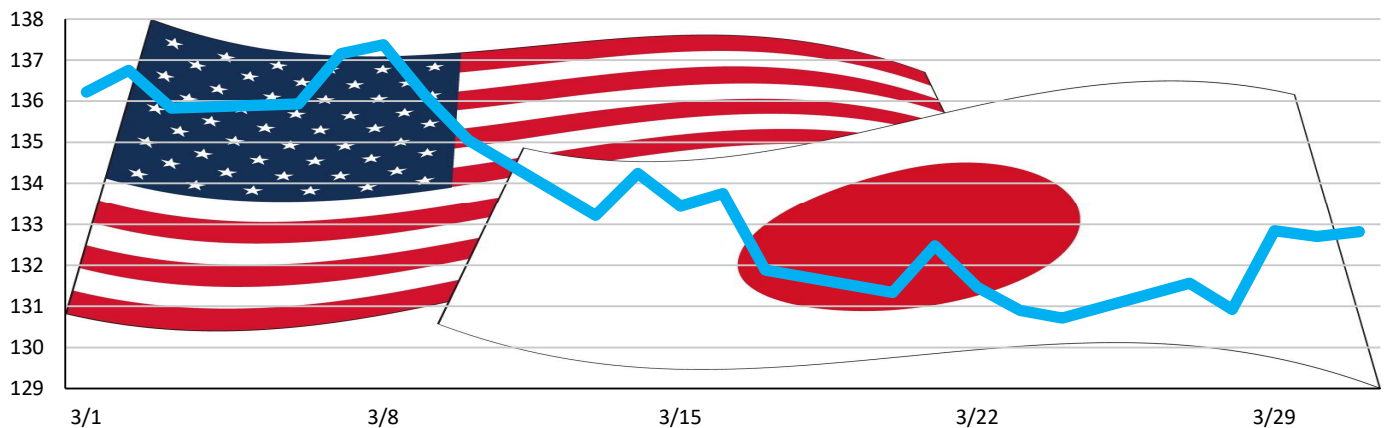


MARKET REVIEW

先月の振り返り：3月のドル円相場は137円後半～129円半ばで推移。136円台を中心に推移していたドル円は、パウエル米FRB議長が大幅利上げに言及したことで、138円目前まで円安ドル高が進行。しかし米雇用統計で失業率が悪化したことやシリコンバレー銀行の破綻が報じられたことで、一転してドル売りに。さらにクレディスイスの経営危機が伝わると、金融不安が広がりを見せドル円は130円台半ばとなった。その後クレディスイス救済報道で持ち直す場面も見られたが、新たにドイツ銀行の経営不安が報じられたことで、リスク回避の円買いが強まりドル円は130円を割り込んだ。ただ月末にかけては新たな破綻報道も無く、クレディスイスとシリコンバレー銀行が救済買収されたことで金融不安が後退し、ドル円は133円台を回復した。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：先月は欧米金融機関の信用不安に振り回されていたが、各国の素早い対応で落ち着きを取り戻しているものの、景況動向の指数を見ると懸念が払しょくされたとはいえず、しばらく注意が必要だろう。今後の注目となるのは月末以降に予定される日銀と米FOMC。日銀金融政策決定会合は植田新総裁となって最初の会合となり、今後どのような舵取りを行っていくのか注目される。また次回の米FOMCでは利上げではなく据え置き見通しも台頭していることからドル売り圧力が高まる可能性もある。短期的な急変動にも対応できるようにポジションを構築していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 27 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
4 / 28 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
5 / 4 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 4 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
5 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 10 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
5 / 11 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。